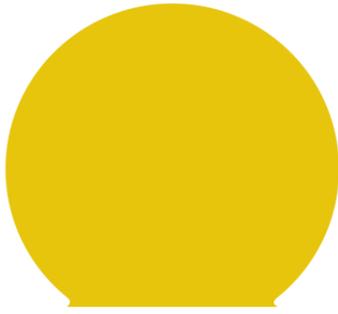


人に喜ばれる仕事 だからみんな「笑顔」に



あさひ製菓



- 1) 設立 1917年(大正6年)
- 2) 本社 柳井市柳井 5275番地
山口オフィス 山口市平井 713-1
- 3) 従業員数 343人(うち女性281人)
- 4) 事業内容 食品製造業



あさひ製菓の女性活躍に向けた主な取組

あさひ製菓株式会社
代表取締役社長 坪野恒幸氏
(2023年3月20日 インタビュー)

- ◆ 勤務時間が設定できる短時間勤務制度
- ◆ 正社員登用制度の運用
- ◆ 女性管理職の積極的な登用
- ◆ 山口オフィスの開設
- ◆ リモートワーク導入による働き方改革
ほか



えるぼし認定 (R3.9)



女性活躍に取り組むきっかけ ~ライフイベントに応じた制度を構築~

15年位前に「CHOU CHOU (シュシュ)」というブランドを出したんですが、その頃から、大学生も、あさひ製菓で働きたい、と応募してくれるようになりました。

新卒の女性社員が増えてくると、ライフイベント、特に結婚や出産への会社としての対応をどうしよう、ということになって。じゃあ時短勤務取れるように、とか産休が増えれば育休も対応しないといけませんね、とか実例に合わせて、制度を充実させてきました。



山口オフィス所長 宮川葉子氏

その中で、本社で、約10年間企画業務を担当していた女性社員が結婚をきっかけに山口に引っ越す、という出来事がありまして、彼女は、店舗業務では無かったので、退職という話も出たんです。

しかし、スキルのある社員が辞めてしまうのは、会社として大きな損失です。何か方法はないかと、色々検討した結果、山口市にオフィスを開設し、継続して働いてもらえるようにしました。

やはり、女性社員が働いていく上では、仕事と生活の両立という課題が出てきます。せっかく縁があって、入社して仕事に慣れてくれた優秀な社員たちを、数年で失ってしまうのはもったいないので、どうやって辞めないですむのか、というので色々なことをしました。

一人一人が働きやすい制度の整備 ～多様な人材の活用～

◆ フレキシブルな短時間勤務制度

子育て中でも正社員として働きやすいよう、月に最低120時間働けば、勤務日や時間を自由に設定できる、短時間勤務制度を設けています。

弊社が従来から、完全に土日が休みという勤務では無く、定休が無く、逆に土日忙しいくらいの体制だったからこそ、今のような短時間勤務制度が組みやすかったのかもしれませんが。元々、交代勤務のような体制だったので、対応できる職場環境の土壌があったと思いますね。

現実的には、そうは言っても現場ではシフト調整などの苦勞がありますが、人事部門が社員に対して事細かにヒアリングしたり、配慮しながら運用しています。

もちろん社員の希望を100%聞くことはできませんので、どこかで妥協しないとはいけませんが、それも頭ごなしに伝えるのではなく、話し合っ理解してもらっています。どうしても無理なときは、他の店舗から応援に行ったりもしますよ。

◆ 正社員登用制度の活用

パートとして3年以上働いて、本人の希望と上司の推薦があれば、本部で検討して、正社員に登用しています。毎年、店舗から希望があがってきますね。今年も約5人、多いときは10人程いる年もあります。希望される方の年齢も、20代から40代と幅広いです。

現在ケーキ部門のトップとして工場の取りまとめをしてくれている社員は、本制度を活用し、パートから正社員に登用された方です。とても優秀な方だったので、本人の希望も聞いてぜひ、ということで。

頑張れば正社員になれる、となれば、やる気にも繋がります。

DX を活用した業務の効率化、生産性向上 ～ウェブカメラの導入～

県内全店舗と工場に、Webカメラを設置しました。

本社で、店舗の日々の様子をカメラで見ることが出来ます。本社からの臨店がすべて無くなるわけではないですが、以前は、一旦下見に行って、チェックして、準備をしてまた行く、という流れだったのが、事前の確認がカメラを通してできるようになったので、かなりの部分で削減できました。

臨店の削減に加え、店長会議のリモート実施など、時間と経費削減で、大幅に効率化できました。

今年は、「集まりたい」という社員からの要望もあって、店長会議をリアルで1回開催しました。対面の良さもちろんありますので、うまく使い分けながら運用していきたいですね。



実は、当初店舗へのカメラ設置に対して、社内では「社長これ監視ですか」という声もあったんですが、逆に「見守るためです」と説明しました。

本社事務所にずっとモニターで流れているので、店舗でのクレームやトラブル時に、本社からも状況を確認できますし、店舗は女性が多く働いているので、従業員の安心・安全にもつながっています。

あさひ製菓の女性活躍 ～自分の子どもに働いてもらいたい企業～

◆ 定着率向上を目指して

これからの目標ですが、やはり定着率は上げたいですね。できるだけ長く働いてもらえるようにしたいです。そのためには、会社として社員の待遇は良くしていかないとけませんし、また、社員の方でも、会社が期待することはどうということなのか、考えながら働いてほしいと思っています。

ありがたいことに、会社がある程度の規模になってきて、地元のお菓子屋さんとして知名度も上がり、新卒で優秀な社員、特に女子大生が入社してくれるようになりました。なので、できるだけ継続して働いてほしい、簡単に退職してしまうのは本当にもったいない。

大企業と比べると給与面では太刀打ちできませんが、働きやすい制度がたくさんあるとか、みんなで相談に乗ってくれる雰囲気があるとか、制度を改善するとか工夫できるところで頑張っています。



◆ 理想は、自分の子どもを就職させたい企業

一番の理想は、「自分の子どもを就職させたい会社」にしたい。

自分が働いていて、娘や息子が、親と一緒に会社の就職試験を受けたいと言い出した時、「やめとけ」と言うんじゃなくて、「うちの会社は良いから来い」、とはっきり言える会社。

親子で働いてくれる、もっと言うなら3世代くらいで働いてくれるような、そんな会社にできればいいな、と思ってるんです。

あさひ製菓で活躍する女性 ～山口オフィス 宮川葉子所長～



◆ 山口オフィスでの勤務について

山口に引っ越すことになったとき、社長が「山口市にいても仕事ができるんじゃないか？」と提案してくださり、店舗の一部をオフィスに改装して、環境を整えていただきました。

今は、在宅勤務も組み合わせながら、業務に取り組んでいます。

◆ 仕事のやりがいと目標について

デザインやインターネット通販の販促企画、官公庁との連携事業など業務は多岐にわたります。入社15年目ですが、新しいことにチャレンジする機会は途切れず、刺激的な日々を過ごせています。また、山口オフィスでの仕事を通じ、以前は関わることのなかった方とのつながりも広がり、嬉しく思っています。

これからも、いろんな技術・知識を吸収しながら、あさひ製菓の業務に生かせるようにしていきたいです。

◆ あさひ製菓について

社内SNSを通じて、会社の状況を全員が把握しやすかったり、商品やサービスに関する提案や意見も表明しやすい環境があります。スタッフの年齢層も幅広く、入社すぐの若手スタッフからベテランスタッフまで、それぞれの得意分野や経験を生かして活躍できる会社です。